長崎県医師臨床研修協議会

新・鳴滝塾

（長崎市）

お話を伺ったのは
塾長 濵田久之 さん

つたエールけん

県内で頑張っている企業や人に
エール（応援）を送ります！

長崎を再び、全国から若い医師が集まる場所に

研修医は医療現場の質の向上・病院の活性化には欠かせない「灯」のような存在ですが、10年ほど前、長崎県の研修医の受け入れ数が大きく減少しました。そこで、県と県内の臨床研修病院がタッグを組み、オール長崎で若い医師を受け入れ、定着につなげようと2010年に設立したのが「新・鳴滝塾」です。日本で初めて長崎で西洋医学を教授したシーボルトの鳴滝塾にちなんで命名しました。

「新・鳴滝塾」の研修医

研修医の指導をする濵田塾長

指導体制向上などでマッチング数全国7位に

「研修するなら長崎県！」のスローガンを掲げて活動した結果、若手研修医の獲得はV字回復（10年間で総数860名）し、2017年には研修医と病院を結ぶマッチング数で全国7位になりました。特に力を入れたのは病院の指導体制の向上です。県全体で指導員講習会を開催したことで、主要病院の約68.3%が指導員の免許を持っています。また、見学のための旅費の助成や、長崎県の魅力（食べ物や祭りなど）を情報発信したことも効果がありました。

県内どこでも質の高い医療が受けられるように

離島などでは医師が不足しています。長崎県の医療の実情を国に知らせるのも新・鳴滝塾の役目です。また、長崎大学の中に「メディカル・ワークライフバランスセンター」を設立し、医療に携わる人たちが仕事と生活の両立を実現できるように、さまざまな支援を行っています。

今後も質の高い研修プログラムを用意して多くの研修医を迎え、定着してもらうことで、県内どこの地域でも質の高い医療が受けられるようにしたいと思っています。

**「研修するなら長崎県！」をスローガンに
全国の研修医に長崎県の魅力を発信、
若手医師の育成・定着に取り組んでいます。**

特集 地域の医療を守るために

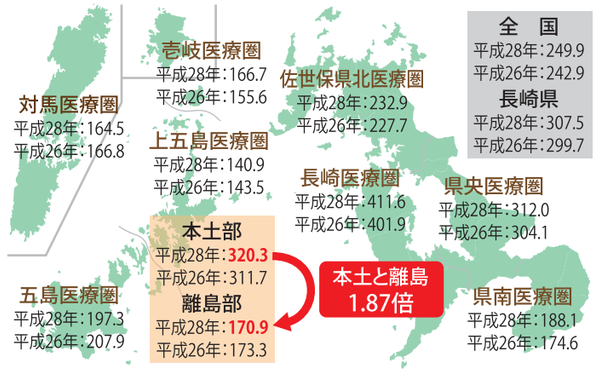
少子高齢化が進む中、特に離島・へき地地域において地域医療を担う医師や看護師といった医療人材が求められています。今回は、県が行っている医療人材の養成や支援に関する取り組みについて紹介します。

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために

本県は、県土面積の4割近くを離島が占めるという地理的な要因から、医師数は本土と離島の間において1.87倍の地域偏差が生まれています。また、離島以外でも、県南医療圏は、他の医療圏と比べて医師数が少なく、本土間でも地域偏差が見られます。

県では、県民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう医療提供体制や救急搬送体制の整備など、さまざまな取り組みによって地域医療の支援を行っています。

長崎県の医師の状況（医師・歯科医師・薬剤師調査：平成28年12月）



長崎県二次医療圏別医師数（人口10万人に対する比率）※無職等を除く

離島・へき地の医療を担う医師を育て、支援する

県では、昭和43年に離島医療圏組合（現病院企業団）を設立し、地域医療を志す医学生向けの修学資金制度を全国に先駆けて創設しました。また、平成22年度からは長崎大学等に地域枠入学制度を設けるなど、離島・へき地における地域医療の充実に長年取り組んでいます。こうした医師については、学生期から勤務に至るまで、研修等によってキャリアップが図られるよう関係機関と連携して支援に努めています。

養成医のキャリアアップを支援

ながさき地域医療人材支援センター

ながさき地域医療人材支援センターは、医師不足地域における医師の確保・定着を図るため、県、長崎大学、県医師会、中核病院等が連携して、平成24年に設立した組織です。

主に、離島やへき地で勤務する医師の募集や、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援などを行っています。医師のキャリアアップは、大都市圏の大きな病院が有利と考えられがちですが、本県では、大学、中核、へき地等の各病院を循環しながら充実した臨床研修を受けることができます。

各医師が望むキャリアについて、早い段階から相談に乗り、理想とする医師像に近づけるようきめ細やかな支援を行っています。

髙山隼人（たかやま はやと）センター長
ながさき地域医療人材支援センター
長崎市坂本町1-7-1 長崎大学病院内
☎095-819-7346
開所時間：月～金 8:45～17:30
（土・日・祝、12/29～1/3は休業）

事例紹介

ながさきで医師として、私らしく生きる

上五島病院 外科 **竹下隼人**（たけした はやと）医師
（鹿児島県出身）
※右ページ写真

Q1 長崎で医師になろうと思ったきっかけは

離島医療の歴史が長くあり、教育体制が整っていたため、長崎の離島で働きたいと思いました。

Q2 島の医師として働いてうれしかったことは

「診てもらえて良かった」と言われた時です。

Q3 やりがいを感じた出来事は

患者さんやご家族の「最期は自宅で過ごしたい」という思いに寄り添い、スタッフと力を合わせて希望を叶える事ができた時です。

Q4 医師を目指す方や医学生へのメッセージ

離島の豊かな自然の中で充実した医療を一緒に展開していきましょう。

ステージに応じた各種サポートを行っています

1 学生期　地域医療を志す医学生を支援

入学金・授業料、図書費、生活費など、6年間で約934万円を貸与する制度を設けています。卒業後、指定する医療機関に一定期間（貸与期間の1.5倍以上、うち離島・へき地に1/2以上）勤務すると返還が免除されます。また、資金の支援だけでなく研修会などの交流会も行なっています。

長崎県医学修学資金　検索

離島で学ぶ夏季ワークショップ

2 初期臨床研修期　オール長崎で取り組む医師の養成

県内16病院が連携して、魅力的な研修プログラムを策定し、受入体制を整えているほか、病院見学のコーディネートや旅費の支援など、長崎で研修を希望する医学生や医師をサポートしています。

※P8「つたエールけん」で取り組みを紹介していますのでご覧ください

新・鳴滝塾　検索

学生へのPR活動

3 医療機関勤務期　医師のワークライフバランスを支援

県では、長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンターに委託し、医師のキャリア形成やワークライフバランス（仕事と生活の調和）実践のための支援を行っています。医師のライフイベント（結婚・出産・育児・介護等）に応じたキャリア形成にも力を入れています。

あじさいプロジェクト　検索

休職・離職中の医師への復帰＆リフレッシュトレーニング

県民の暮らしと健康を支える看護師

本県では、全国を上回るスピードで高齢化が進んでおり、今後ますます医療需要は増大すると予想されています。医療の提供場面は、病院から地域へと拡大しており、医療機関はもとより、介護施設や在宅などのさまざまな分野で看護師の活躍が期待されています。

特に、高齢化率が高い離島地域においては、地域の安心を支える多くの看護師が求められています。

さまざまなステージに応じた支援

県では、安全・安心な質の高い医療を提供し、地域に求められる看護を拡充していくために、一人でも多くの看護職員の方に県内で働いていただきたいと考えています。そのため、看護師等の養成所の運営を支援しているほか、修学資金制度も設けています。

また、看護師の皆さんが、安心して学び、やりがいをもって働くことができるようにするため、資質向上のための研修や離職された方の復職をサポートなど、ステージに沿った制度を設けて支援をしています。

新人看護師の集合研修

復職に向けての看護技術研修

看護職員のキャリア形成を支援

長崎県看護キャリアセンター

長崎県看護キャリア支援センターは、全国でも数少ない県が設立した看護職員を対象とする研修施設です。「一人一人の看護職員のキャリアに応じ、生涯、働き続ける看護職をサポートする」ことを目的に県が設立しました。就業間もない方のサポートはもちろんのこと、勤務にブランクのある方の不安を和らげるための研修や、就業相談・復職支援なども行っています。

また、医療機関や看護学校と連携して、看護学生や看護師たちの交流会などを開催し、看護師同士が互いに質を高め、支え合う機会作りを行っています。

平田俊子（ひらた としこ）センター長
長崎県看護キャリア支援センター
佐世保市平瀬町3-1-1F
☎0956-23-8207
開所時間：月～土10:00～18:00
（日・祝、12/29～1/3は休業）

事例紹介

ながさきで看護師として、私らしく生きる

長崎県島原病院 井村紗妃（いむら さき）看護師
※右ページ写真（左から3番目）

Q1 長崎で看護師になろうと思った理由

県外の看護学校に進学しましたが、地域の皆さんに愛されている地元の病院で働いて地域に貢献したいと考え、ふるさと長崎の病院に就職しました。現在看護師3年目です。

Q2 看護師のやりがいとは

身体面や精神面をケアし、人を支え・助けるという仕事にとてもやりがいを感じています。患者さんから、「ありがとう」と言われた時はとても嬉しく、看護師になって良かったと思います。

Q3 看護師を目指す方や看護学生へのメッセージ

看護師は、患者さん一人一人と向き合うことで、やりがいを感じることができる仕事です。多くの方に目指してほしいと思います。

ステージに応じた各種サポートを行っています

1 看護学生　ながさきの未来を支える看護学生を支援

県内の医療機関などで就業する意思のある看護学生に修学資金を貸与しています（看護師課程：月32,000円、准看護師課程：月21,000円）。看護学校卒業後、指定施設に一定期間勤務すると返還が免除されます。また、県内の113の医療機関（平成30年調べ）が独自の奨学金制度を設けています。

長崎県　看護学生のための修学資金　検索

2 新人・中堅看護師　安心して学び、やりがいをもって働く

長崎県看護キャリア支援センターでは、県内で活躍する専門看護師や認定看護師を講師に迎え、新人看護職員研修、看護師スキルアップ研修など、看護実践能力の向上を目指す研修を実施しています。

3 子育て世代　安心して学び、やりがいをもって働く

病院内保育所運営を支援し、子育てしながら安心して働くことができる環境を整備しています。

※平成30年度末の病院内保育所数：43施設

4 復職希望者　もう一度働きたい方の背中を後押し

長崎県看護キャリア支援センターでは、結婚や出産により離職していた看護職員が、安心して現場へ復帰できるよう復職や就業相談に乗っています（無料）。また、シミュレーターを使った注射技術研修をはじめとする看護技術研修も行っています。

問合せ　県の医療人材対策室　☎095-895-2421　長崎県　医療人材　検索

県政テレビ番組「こちら県庁広報2課」（民放4局）でも今回の特集を7月に放送します。ぜひご覧ください。